学校番号	306

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校日本史Ａ 新訂版　（実教出版）						
副教材等	詳説日本史図録　第７版　（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史は、現在の日本の成り立ちと深く関係していることを理解する。
歴史がつくった諸外国と日本の関係を理解し、現在の日本の在り方を考える。
歴史的背景から現在の日本の問題を考察する力をつける。

2　学習の到達目標

1.　日本の歴史をふまえ、近現代史を事実に基づき把握し、歴史の構造と変化を理解する。
2.　歴史を現代の課題と関連づけ、主体的に学び、歴史的思考力を養う。
3.　日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につけ、日本人としての役割を考察する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本史の学習を暗記ではなく、歴史的事実や現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探求する態度を身につける努力をしている。	歴史事象や歴史構造に問題を見出し、それを分析し、総合的に考えることができる。また、それを表現することができる。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	自ら調べた内容をもとに歴史的事実や歴史の構造について知識として身につけ、理解している。
評価方法	授業態度 ワークシート 小テスト 提出課題 定期考査	授業態度 ワークシート 小テスト 提出課題 定期考査	授業態度 ワークシート 提出課題 小テスト 定期考査	授業態度 ワークシート 小テスト 提出課題 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	近代への転換	・異国船の接近と幕藩体制の動揺 ・蘭学と国学の普及 ・開国と社会の変動 ・尊王攘夷から倒幕へ ・明治維新と新政府の成立	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○	 ○ ○ ○	a：幕末から明治に至る動きを，一連と国内の変化からとらえようとしている b：江戸時代後期の日本の状況を，幕府の衰退という視点でとらえ，考察している。 c：教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し，活用している。 d：江戸時代後期の日本の状況を，世界情勢と関連づけて，正しく把握している。	授業態度 ワークシート 小テスト 提出課題 定期考査
	大日本帝国の展開	・文明開化と復古 ・地租改正と富国強兵 ・アジア外交と国境問題 ・民権思想と国会開設運動 ・私擬憲法と政党の結成 ・松方財政と民権運動の激化 ・大日本帝国憲法の制定	○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	a：文明開化から大日本帝国憲法制定までの流れを，一連の動きのなかで理解しようとしている。 b：日本の初期外交政策において，対欧米，対アジアでその内容が違うことを理解し，国内の問題点を含めて考察している。 c：教科書に掲載している資料を的確に読み取り、使用することができる。 d：明治政府の初期の諸政策について，その目的と問題点を理解している。	授業態度 ワークシート 小テスト 提出課題 定期考査

2学期	大日本帝国憲法の展開	・条約改正と立憲政友会の結成 ・朝鮮政策と日清戦争 ・日清戦争後の東アジア ・日露戦争と朝鮮 ・朝鮮の植民地化 ・資本主義と寄生地主制 ・社会問題の発生 ・欧米文化と伝統文化の交錯	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ 	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a：日清・日露戦争期の政治の動きについて，当時の社会や人々の動きに注目して，理解しようとしている。 b：各国との条約の過程で，日本側の要求と，これに応じる各国の対応を，この後の国際情勢をふまえて考察している。 c：教科書に関連する題材などを，書籍・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して収集している。 d：日本がおこなったアジア諸国への勢力拡張の実態を把握し，また，この問題点についても理解している。	授業態度 ワークシート 小テスト 提出課題 定期考査
	両対戦間の世界と日本	・大正デモクラシー ・第1次世界大戦 ・第1次世界大戦後の世界 ・日本資本主義の成長 ・米騒動と改造の時代 ・男子普通選挙法と治安維持法 ・大正デモクラシーと文化	○ ○ 	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a：大正期の経済や社会状況において，第一次世界大戦との因果関係について理解しようとしている。 b：当時の社会・労働面の状況について，現在の視点からその問題点を考察している。 c：この時代変容を教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し，有用な情報を選択し，活用できる。 d：第一次世界大戦が日本に与えた影響について正しく理解している。	授業態度 ワークシート 小テスト 提出課題 定期考査

	15年戦争と日本・アジア	・侵略戦争への序幕 ・満州事変と「満州国」 ・日中戦争 ・第2次世界大戦と日本 ・戦時下の学問と文化 ・アジア太平洋戦争 ・戦争末期の国民生活 ・日本の敗戦	○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 戦争による国民統制の事実について理解し，国民生活に与えた具体的な影響について関心が高まっている。 b: 日本の戦争に至る経緯を，国内的な軍部の台頭による政治状況の変化，経済の動向，国際関係の変化に着目して，考察している。 c: 教科書に掲載している図版・写真の伝える意図を十分に理解し，有用な情報を活用している。 d: 日本がおこなったアジア諸国に対する政策の内容と問題点について，正しく把握している。	授業態度 ワークシート 小テスト 提出課題 定期考査
3学期	戦後改革と高度経済成長	・戦後世界と日本 ・戦後アジアと日本・アメリカ ・日本国憲法と民主主義体制 ・戦後革命の転換 ・経済復興と再軍備 ・サンフランシスコ平和条約 ・日米新安保条約 ・高度経済成長と公害 ・ベトナム戦争と沖縄 ・戦後の文化	○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a : 敗戦によって日本が連合国の占領を受けたことの事実を理解し，占領の内容と後の日本の経済成長についても意欲的に理解を深める態度を身につけている。 b : 主権回復後，日本が締結した条約や制定した法律の内容について，背景もあわせて理解している。また，それに関連しておこった国内の動きから，そこに含まれる問題点を考察している。 c : 歴史資料や年表を活用する力を身につけている。新聞や雑誌の分析などで調べる力を身につける。 d : 主権回復後におこった国内の動きについて，その内容と政治的背景を，正しく把握している。	授業態度 ワークシート 小テスト 提出課題 定期考査

	現代の世界と日本	・低成長の転換 ・経済大国と国民生活 ・世界の変動と国際関係 ・湾岸戦争後の世界と日本 ・バブル崩壊と政界再編 ・21世紀の日本の社会 ・21世紀の世界と日本	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○	a：国際社会において，日本のはたすべき役割について，関心を深めている。 b：現代社会がかかえる社会問題について，戦後から現在までの国民生活の変化のなかに，その起因となる部分をみつけている。 c：教科書に関連する題材などを，書籍・インターネットなどのさまざまな情報手段を活用して調査している。 d：現在の日本がかかえる諸問題について理解し，そのために何が必要なのか，自分自身の考えをもっている。	授業態度 ワークシート 小テスト 提出課題 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。